

牛根小5年連続学校賞と 全校児童の詩が新聞掲載



▲児童たちの後は、新聞に掲載された詩の掲示スペース

昨年度、「体力アップ！チャレンジかごしま」で、牛根小学校が5年連続となる学校賞を受賞しました。これは県下小・中学校を対象に6種の競技の記録を競うもので、同校では、日ごろから体育館にあるボードに記録をつけ、練習に励んでいます。また、同校では、全校児童が毎月季節にちなんだ詩作りを行っており、今年1月には、約1年間で全児童の作品が南日本新聞「子供のうた」に掲載されました。今年度3人の新入生で全校児童11人となった同校では、新しい仲間を迎え、また挑戦が始まります。

消防職員園田幸平さん 優秀成績表彰

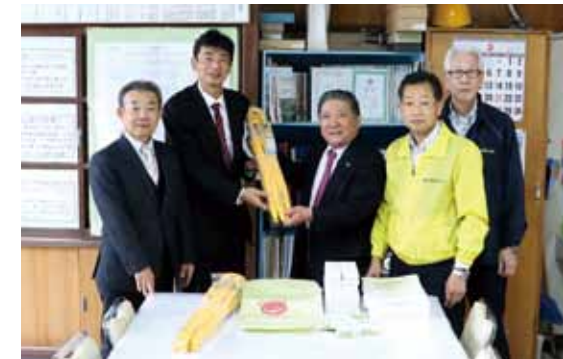


3月11日（月）、垂水市消防本部の園田幸平消防副士長が救急救命士研修課程で優秀な成績を収め、救急救命九州研修所（福岡県北九州市）より表彰されました。これは、西日本より研修生が集まり7か月間の研修が行われるもので、約200名から2人が表彰されました。園田さんは「研修で学んだ知識・技術を生かし、努力を惜しまず、立派な救急救命士になります」と話されました。

優秀者に寄贈された訓練用資機材▶



園田陸運株式会社 交通安全教材贈呈式



3月28日（木）、園田陸運株式会社より小学校新1年生へ交通安全教材が寄贈され、垂水小学校で贈呈式が行われました。これは平成3年から行われている取組で、同社・園田純俊会長から交通安全の傘が贈られました。濱島眞澄校長（現・桜丘西小）は「子どもたちの入学に華を添えていただきました。大切に使用させていただきます」とお礼の言葉を送りました。

【今回贈呈された物】

①傘・鉛筆／園田陸運株式会社、②クリアファイル／垂水地区交通安全協会、③ランドセルカバー／日本コブ共済生活協同組合連合会、④LEDキーホルダー／垂水市

西南の役招魂碑等 修繕工事竣工式



3月30日（土）、西南の役などの戦死者を祀った招魂碑・忠魂碑修繕工事竣工式が鹿児島神社（下宮神社）で行われました。これは、建立から100年以上が経過し風化する石碑の修繕を実行委員会の方々が募金活動や寄附を募り、実現したものです。石碑や土台などは、きれいに修復され、以前に増して立派なものとなりました。郷土の先人の思いが後世へも大切に引き継がれます。



3月28日（木）、垂水市社会福祉協議会と社会福祉法人岳風会との間で「生活困窮者に対する食料支援に関する協定」が岳風会の運営する就労支援事業所ティンカーベル（パン屋：柘原地区）において締結されました。これは、緊急時における生活困窮者に対する支援を目的としたもので、生活困窮者が社会福祉協議会または市役所福祉課に相談し、要支援と判断された場合に、ティンカーベルより食料支援としてパンが提供されます。



岳風会と垂水市協 食料支援協定式

3月24日（日）、第35回協和校区ハイキング大会が開催され、約120人が参加しました。今年は協和地区公民館から荒崎パーキングを折り返す6.5kmのコースで、参加者たちは思い思いの春の景色を楽しみました。当日は、垂水史談会・瀬角龍平さんの協和地区の歴史解説や、春の草花の説明が行われました。また、垂水市漁協青年部によるカンパチやいわし、生わかめ、婦人部によるろっぺ餅の振る舞いなどが行われ、地元特産品と春の陽気を満喫しました。



春を楽しむ協和地区 ハイキング大会